



議会だより

第33号 平成25年11月発行

さやこ

140歳のお誕生日、おめでとう！

祝 諫山小学校創立百四十周年



諫山小学校創立140周年記念式典(平成25年10月)

## もくじ

「9月定例議会 結果を報告」	2~7P
「議会の活動報告」	8~9P
10名の議員が町政を問う!「一般質問」	10~19P
町内の頑張っている団体を紹介!	
「がんばつちよる~うずめの会~」	20P

# 平成25年第3回定例議会議案議決結果及び議員別議案賛否一覧表

9月定例議会に提出された議案の議決結果及び議員別議案賛否をお知らせします。

議案名	議員名														審議結果	
	橋本 真助	柿野 正喜	中山 茂樹	小田 勝彦	田中 勝馬	飯本 秀夫	中尾 昌廣	金房 眞悟	大東 英壽	柿野 義直	熊谷 みえ子	原田 和美	中尾 文俊	肥喜 里和	浦山 公明	
みやこ町教育委員会委員の任命 (大場 直 氏を任命)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること (永沼 加奈子 氏を推薦)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	適任
みやこ町若者向け賃貸住宅条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
みやこ町税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
みやこ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
みやこ町介護保険条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
みやこ町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
平成25年度みやこ町一般会計補正予算(第2号)	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	可決
平成25年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
平成25年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
平成25年度みやこ町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
安心の年金制度を求める意見書(案)															継続審査	
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
道州制導入に断固反対する意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成24年度みやこ町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	認定
平成24年度みやこ町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	認定
平成24年度みやこ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	認定
平成24年度みやこ町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	認定
平成24年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	認定
平成24年度みやこ町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
平成24年度みやこ町水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
平成24年度みやこ町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
平成24年度みやこ町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
平成24年度みやこ町犀川財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
平成24年度みやこ町城井財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席

# 総務常任委員会審査報告

総務常任委員会を9月17日に開催し、付託された平成25年度一般会計補正予算所管分などの議案審査を行いましたので主な審査内容等を報告します。

## 公共施設へAED設置

(予算額) 119万円

(内容) 14台購入

Q AEDの設置場所は。

A 現在は、学校、保育所等に31カ所に設置している。今回は、諫山活性化センター、豊津隣保館、勝山公民館、豊津公民館、歴史民俗博物館、中央図書館、給食センター、学習等供用施設5施設の計12カ所に設置。



公共施設に設置されているAED

残り2台は、本庁に置き、施設外で行事を行う時に貸し出すもの。

## 新光富団地裏山の地滑り防止工事

(予算額) 4900万円

(内容) 新光富団地裏側の町所有山林において、地滑り（幅約45メートル、奥行き約45メートル、深さ約10メートル）が発生しているた

地域の元気臨時交付金  
3億6496万3千円

Q 交付金の振り分けは。

A 豊前国府跡公園の改修工事に2596万3千円、いこいの里屋根改修工事に4000万円、若者向け住宅建設工事に2億9900万円を充当するもの。

Q この交付金は、先を見据えて、何年間か入ってくるお金ではないのか。

A 今回のこの交付金は、今年度のみの予定。今回は一次分ですが、今年度内には、二次分も金額等は提示されていないが、若干あるのではないかと思われる。

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を活かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。

それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。

多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の增强につながるものであると確信している。

よつて、我々みやこ町議会は、道州制の導入に断固反対するものである。

## 豊津地区の一部防犯灯LEDへ交換

(予算額) 約600万円

今回は、豊津地区の一部、将来的には全町LEDへ交換する計画。

## 避難所表示板設置

(予算額) 45万円

(内容) 町指定の避難所、町内全30カ所に避難所表示板を設置。

## 道州制導入に断固反対する意見書を国に送付

## 道州制導入に



新光富団地裏側の山林

(意見書送付先)  
内閣総理大臣、副総理  
内閣官房長官、総務大臣  
衆議院議長、参議院議長

# 産業建設常任委員会審査報告

産業建設常任委員会を9月13日に開催し、付託された若者向け賃貸住宅条例や平成25年度一般会計補正予算所管分などの議案審査を行いましたので主な審査内容等を報告します。

## 若者向け賃貸住宅条例制定

(内容) 来年3月完成、4月から入居開始予定の若者向け賃貸住宅の入居、管理等の為の条例の制定。

月額家賃 3万5千円。

Q 入居申込者が多い場合は。

A 申込みが多ければ抽選。入居が決まれば一応3年で更新という形を取りたい。

Q この住宅の目的は若者に定住していただくことだと思う。3年は、どういう意味で位置づけしたのか。

A 定住が目的ですが、内容を調べるために更新の過程も必要ではないかということで3年を定めている。

Q 希望者は、更新すれば、ずっと居て良いのか。

A 子どもがいない場合は、夫婦の年齢の合計が80歳になるまで、子どもがいる場合は、同居している末子が中学を卒業するまでとする等の規定を設けている。



若者向け賃貸住宅工事の現況

A サルについて、現在追い上げという形で対策をとっているが、捕獲という段階に踏み切るには動物愛護とか自然保護の観点を見極めて考えていく必要がある。関係者や近隣市町と、連携を図り取り組んでいきたい。

Q サルの捕獲について町の方針は。

A 昨年度の豪雨により申請箇所が多く、現在61カ所で1300万円程度施行している。今後も多く申請が見込まれるための補正。

Q 補助率等は。

A 水路は50%（補助限度額50万円）、農道は50%（補助限度額30万円）、ため池は90%（補助限度額150万円）。

## 猪・鹿1頭当たり捕獲に8千円を補助

（予算額）440万円

(内容) 国の鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業として、猪や鹿を1頭捕獲につき、8千円を補助するも

Q 豊津地区冠水被害防除工事（予算額）1億830万円

A 計画の水路は、元々、巣鳥池からの農業用水路。土木費で計上しているが、農業費で計上し地元負担金も徴収すべきではないか。

Q 確かに、当初は巣鳥池の水路でしたが、現況は、国道・豊津支所・団地等からの排水が入り、住宅の下にも水路が通っている。昨年の大雨でも床下浸水等の被害があり、冠水陥没等を防ぐということで、土木費の用悪水路費で計上した。

（意見書送付先）

Q これは、旧豊津町時代からの懸案事項であったが、町単独予算で行うのであれば、昨年の大雨被害で、復旧できていない所にお金

を使うべきではないか。公共工事の優先順位等はどのように決めているのか、基準を明確にすべきだ。

A 災害であれば災害申請をして、採択されたものから順番に行っている。また、普通の公共工事の金額の大きいものは、役場内の調整会議で決めている。

## 森林吸収源対策、地球温暖化対策に関する地方の財源確保を求める意見書を国に送付

自然災害などの脅威から国民の生命と財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化を図り、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・

保全等を推進する市長村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築をみやこ町議会として強く求めるものである。

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣

経済産業大臣、衆議院議長

Q 小規模農業用施設整備費補助金  
1000万円追加

# 文教厚生常任委員会審査報告

文教厚生常任委員会を9月12日に開催し、付託された平成25年度一般会計補正予算所管分や農業用集落排水事業特別会計補正予算などの議案審査を行いましたので主な審査内容等を報告します。

## 旧小笠原別邸調査委託料

(予算額) 210万円

(内容) 戦後豊津から犀川横瀬に移築した旧小笠原別邸の老朽化に伴い、早急に記録保存をするための調査。

**Q 調査し今後どのようにする方針か。**

**A** 旧小笠原別邸は、文化財的な価値があり、これを解体するといふことで、調査し、図面等を残すもの。

解体した部材の中で、有効なものがあれば、保存することも検討したい。

## 給食センターで乳製品アレルギー対応

(予算額) 100万円

(内容) 乳製品の食物アレルギーを持つ子どもに給食を提供する為の栄養士の賃金。

**Q 乳製品のアレルギー除去食の対応の実施はいつからか。**

**A** 予定では、平成26年1月を目途に実施したい。

**Q 職員等の休憩室は。**

**A** 男女別の休憩室を設けている。



給食センターアレルギー対応室

## 地域の元気臨時交付金の使途

**Q 使途は検討したのか。**

**A** この交付金が決定したのち、新規事業に取り組むと予算が膨らむため、調整会議を行い、当初予算に計上されている事業の財源を変更し、この交付金を充当した。

**Q** 期待できるものと考へていて。

## 農業集落排水事業

### 犀川地区本庄処理場改修工事

(内容) 処理場改修の詳細設計による処理方式の変更により、工事費を4792万円増額。

**Q** 今後犀川に限らず、老朽化による改修が進むと思われる。毎年、一般会計から数千万円の補填を受けているが、農業集落排水事業の普及率は。

**A** 普及率は約85%の方につなぎ込みをしていただいている状況。

**Q** にもかかわらず、毎年数千万円の赤字になると言うのは、どう考えたら良いのか。

**A** 長い間の懸案的な問題。事業投資に絡み、一度に使用料を高く取ることはできない。現実的な形では、使用料に転嫁ということになるが、事業目的として公共用水

## 小宮豊隆氏寄贈資料の時価評価委託料

(予算額) 250万円

(内容) 今年5月に寄贈された小宮豊隆氏の資料477点の時価評価を専門業者に委託するもの。

を専門業者に委託するもの。



農業集落排水 犀川地区本庄処理場

## 安心の年金制度を求める意見書(案)を継続審査

全額国庫負担の最低保障年金制度など安心の年金制度を求めるものですが、審議した結果、内容としては賛成だが、もう少し整理をして出すべきということで、継続審査とすることに決しました。

域の環境保全もあるので、それに伴う多少の投資と考えている。しかし、将来的には財源もだんだん厳しくなるので、料金のアップや効率化を図り必要経費の節減に取り組んでいきたい。今回改修することにより、経費節減効果は多少

## 平成24年度一般会計決算の概要

平成24年度みやこ町一般会計の決算総額は歳入139億7709万3千円、歳出127億5万1千円であり、差引額は12億7704万2千円の黒字となっています。この黒字額には、平成24年度中に事業が完成しなかつたために翌年度に繰り越した事業に充てるべき額3億7312万8千円が含まれていますので、その額を控除した実質黒字額は9億391万4千円です。

# 5万1千円

**一般会計(平成24年度末現在高)**

**町の借金(地方債)はこれだけ**

**105億6639万2千円**

**町の預貯金(基金)はこれだけ**

**109億8490万2千円**



**主な基金(平成24年度末現在高)**

(円)

財政調整基金	1,995,801,854
減債基金	397,324,023
公共施設整備基金	3,214,249,937
ふるさと創生基金	277,926,301
伊良原ダム周辺地域振興基金	1,759,292,105
伊良原ダム周辺地域公共施設整備基金	589,312,462
合併地域振興基金	1,228,083,063
農林業振興基金	168,290,020

### 平成24年度主な税・使用料等の徴収状況

単位(円、%)

税・使用料等	現年度収入額	徴収率	滞納繰越分収入額	徴収率
個人町民税	727,097,777	97.7	22,979,049	37.8
法人町民税	309,637,500	99.9	326,900	29.4
固定資産税	885,611,804	97.6	29,325,896	18.4
軽自動車税	54,044,400	95.4	2,875,349	36.0
保育料	89,569,080	94.4	6,415,750	30.5
国民健康保険税	435,172,800	92.4	41,409,302	26.1
後期高齢者医療保険料	214,938,560	99.1	1,023,510	44.6
介護保険料	325,827,210	99.0	2,466,330	34.6
住宅使用料	78,517,900	93.9	11,513,910	14.1
水道使用料	124,733,080	90.3	12,165,640	37.8

### 平成24年度不納欠損額

(円)

個人町民税	116件	816,086
法人町民税	1件	37,500
固定資産税	247件	1,654,110
軽自動車税	79件	364,600
保育料	137件	1,405,930
国民健康保険税	404件	5,460,600
後期高齢者医療保険料	28件	35,870
介護保険料	137件	677,004



# 平成24年度

# 一般会計決算歳出総額

**127**

# 決算特別委員会審査報告



崎山ひまわり祭り

**A** みやこ町に多くの人が来て  
もらいたいという思いから  
行っている。また、ゆめづく  
り事業についても、ある程度  
の期間応援しなければならな  
いと思っている。

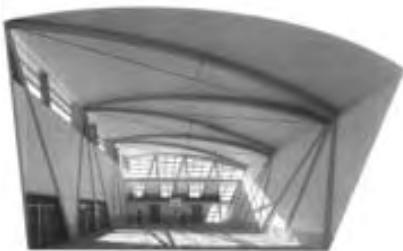
**Q**町主催のイベントや地域の団体に交付しているゆめづくり事業の交付金の必要性は。

**A** 滞納者の実態調査に力を入れ、まず、資産を調べることが徴収の一歩なので、滞納者の資産状況を調査するところから全力を尽くしていきたい。

**Q 徴収対策課による税金等満納繰越分の徴収は、一定の効果が出ているようだが今後の取り組みは。**

一般会計

**Q** みやこ町全体の小中学校の再編はいつ頃か。  
**A** 来年中には、計画を示した  
い。



伊良原小学校体育館イメージ図

**Q** 伊良原小中学校建設に係る  
**A** 伊良原産木材の使用は。  
落札業者と調整をしたい。



國作地區宅地分譲地

**Q** 国作地区の宅地分譲については、定住促進という事業の目的を踏まえた上で、価格を決定し、早急に販売すべきではないか。

**A** 限られた財源の中、上水道の整備を進め、汚水処理については、小型合併浄化槽を推進している。

**Q** 公共下水道の今後の方針は。

**Q** 上水道の加入促進の努力は  
しているのか。

**A** 今後は実績を見込んで編成  
したい。

**Q** 予算編成の歳入については  
収入が過大見積もりではない  
のか。

**A** できることからやつてい  
**Q** 住宅新築資金滞納分の対応  
**策は。**

**特別会計**  
**住宅新築資金等事業**

# 財政の状況

单位(千円、%)

区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	経常一般財源比率	実質公債費比率
平成24年度	6,860,492	0.39	80.7	101.7	7.6
平成23年度	6,957,035	0.40	79.0	102.5	8.8

財政力指數

町の財政力を示す指数で1に近くなるほど財政に余裕がある。

### 経常収支比率

経常収入に対する経常経費(人件費、物件費、扶助費、補助費等)の割合。75%~80%未満が妥当である。

審質公債費比率

公債費(元利償還金)の一般財源に占める割合。25%を超えると危険領域といえる。

# 動を報告します!

みやこ町議会では、開かれた議会の一環として、議会活動の内容を広く町民の皆様に理解していただきために、次のとおり議会活動を報告いたします。※議会定例会については紙面の都合上除いております。

## 佐賀県多久市、武雄市を視察「文教厚生常任委員会」

### 8月28日 多久市 小中一貫校

平成25年4月に開校されたばかりの小中一貫校という事で、大変すばらしい近代的な環境であり、防災に配慮したモダンな造りには驚きを隠せませんでした。

小中一貫校の取り組みについて、問題が多々あるのではないかと思い、様々な角度から質問をしましたので、次のとおり報告いたします。

移行するに当たっては、平成22年度より小中連携学習、活動に取り組んでいたため、児童生徒たちも心配することなく移行できたとの事でした。先生方においては、相乗のり入れ授業を展開し、新しい教育スタイルに全員が切磋琢磨して取り組んでおり、心強く感じました。教育の取り組みについては学習指導要領に基づき、4・3・2制のカリキュラムに取り組み9年間の連続性を活かした教育や、児童生徒全員による掃除活動「トイレ磨きは心磨き」、命の授業と国際化授業、小学校1年生から「英語活動」を導入し実践に取り組まれています。

人口21,026人の中に小学校7校、中学校3校がありましたが、3ヶ所にまとめる取り組みをされてきた関係者の皆さんと、市長の決断力は素晴らしいものだと思います。

### 8月29日 武雄市 図書館

武雄市図書館は予想以上に来客が多く、スケールが大きかった。図書館自体は会社に指定管理を委託しており、館内では本を読むスペースはもちろんのこと、飲食店や本の販売もしております。

以上の研修で学んだ内容を、みやこ町の規模に合わせ、活かしていくために、議員一同頑張って参ります。

文教厚生常任委員長 田中 勝馬



東原庠舎(とうげんじょうしゃ)中央校



武雄市図書館

## 福岡県町村議會議長会 常任委員会、議会運営委員会正副委員長研修

### 10月15日

#### 講師 新潟県立大 國際地域学部准教授

田口 一博 氏

今回の研修では主に委員会活動の活性化について、主眼が置かれており、特に重要な点については次のとおりでした。

- ・町民、専門家の意見を聞く住民参加型の「公聴会」の開催。
- ・地区から議員が出ていない所へ意見を聞きに伺う。
- ・調査活動「動く・聞く・見る」を何度も実施し、委員会に報告する。
- ・所管事務調査は「仕事・任務・責任」を持って1年ごとに目標を決めて、年間スケジュールを作る。

以上、議会のための議会にならないよう努力すると共に、町民に信頼され、開かれた、親しまれる議会を目指して、一層努力いたします。



研修の様子

# 議長・議会の活

月 日	件 名
7月 1日(月)	同和問題啓発強調月間街頭啓発指導に参加
7月 2日(火)	監査委員より平成25年6月期例月出納検査の結果報告書の送付を受けた
7月 3日(水)	諫山小学校研究発表会に出席
7月 7日(日)	京都郡水泳大会、隣保館祭り、吉原古城七夕祭に出席
7月 8日(月)	広報特別委員会を開会
7月10日(水)	文教厚生常任委員会学校訪問 犀川平成筑豊鉄道を育てる会定期総会に出席
7月11日(木)	第43回都市少年の主張弁論大会に出席
7月12日(金)	京都郡議員研修会に出席
7月14日(日)	京都郡球技大会(バレー・ソフトテニス・卓球・バドミントン)に出席
7月16日(火)	若者向け住宅新築工事安全祈願祭に出席
7月17日(水)	広報特別委員会を開会
7月18日(木)	小学校英語活動学習発表会に出席
7月21日(日)	京都郡野球・ソフトボール大会に出席
7月22日(月)	広報特別委員会を開会
7月26日(金)	サマーフェスティバルin筑城に出席
7月30日(火)	議会改革調査特別委員会を開会
7月31日(水)	全国市議会議長会基地協議会に係る要望書を提出 筑豊横断道路建設促進期成会に係る要望書を提出
8月 1日(木)	監査委員より平成25年7月期例月出納検査の結果報告書の送付を受けた
8月 2日(金)	別府・耶馬溪・行橋ルート国道整備促進期成会総会に出席 みやこ町海外ホームステイ出発式に出席
8月 3日(土)	豊勝会主催合同慰靈祭に出席
8月 4日(日)	前みやこ町消防団犀川方面隊長の瑞宝単光賞受賞記念祝賀会に出席
8月 9日(金)	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情書を受理
8月11日(日)	みやこ町教育講演会に出席
8月20日(火)	議会改革調査特別委員会、全員協議会を開会
8月25日(日)	平成25年度みやこ町合同追悼式に出席
8月26日(月)	道州制導入に反対する意見書の提出についての要望書を受理
8月27日(火)	福岡県町村議会理事会県外行政視察研修に出席
8月28日(水)	文教厚生常任委員会先進地視察研修(佐賀県多久市)
8月29日(木)	文教厚生常任委員会先進地視察研修(佐賀県武雄市) 豊前広域環境施設組合 議会運営委員会、定例議会に出席
9月 2日(月)	監査委員より平成25年8月期例月出納検査の結果報告書の送付を受けた
9月 3日(火)	教育委員長より平成25年度(24年度対象)みやこ町教育委員会の事務執行に関する評価についての送付を受けた
9月 4日(水)	第4回中学生英語スピーチ大会に出席 みやこ町チャレンジデー2013実行委員会反省会に出席
9月 6日(金)	監査委員より平成25年度出資団体の監査結果(犀川四季犀館)の送付を受けた
9月 7日(土)	豊勝会主催敬老祝賀会に出席
9月 8日(日)	講演会「黒田官兵衛の光と影」に出席
9月14日(土)	敬老会に出席
9月21日(土)	久保小学校秋季運動会に出席
9月22日(日)	上高屋小学校秋季運動会、城井小学校秋季運動会に出席
9月25日(水)	地域密着型特別養護老人ホーム美夜古落成式に出席
9月27日(金)	筑城基地追悼式に出席
9月28日(土)	豊津小学校秋季運動会、第3回みやこ町老連老人福祉大会に出席
9月30日(月)	豊前地区三郡町村議会議長会正副会長、事務局長会議に出席



若者向け住宅新築工事安全祈願祭

別府・耶馬溪・行橋ルート  
国道整備促進期成会総会

第3回みやこ町老連老人福祉大会

Q

# 荒廃農地活用で農業振興を

A

## 共に考え、良い方法を見つけたい



**夫  
秀  
員  
本  
議  
飯**

事業を絡めながら展開していく。

A

うか。

**Q** 農地プラン策定後に、みやこ町は耕作放棄地再生事業に取り組む準備はあるのか。実施するならば開始時期並びに要件、要領を尋ねる。

**A** 農業委員会の協力を得ながら荒廃農地の洗い出しを行っており、年度内には、受託可能な農業経営体を選定し、該当する農業者に栽培を募つてみてはどう

**Q** 農地が増えているが対策としての「人・農地プラン」について尋ねる。

**A** 犀川地区、勝山地区、豊津地区の3地区に分けて策定しているが遅れている。豊津においては今年度策定する。

**Q** 高齢化が進み年々、耕作放棄地が増えているが対策としての「人・農地プラン」について尋ねる。

**A** 犀川地区、勝山地区、豊津地区の3地区に分けて策定しているが遅れている。豊津においては今年度策定する。

**Q** 農地プラン策定後に、みやこ町の農業政策を無視する農業者が耕作権を取得した場合は、築き上げてきた集落営農が崩れる事は、容易に推測できるので、提案のあつた施策も含め、共に考え方を見つける。

**Q** 果樹園跡地の利用方法については、農水省事業（5年を途中に地目が自動的に畠になる）では根本的な解決策にはならず、その後は更に荒廃する事は明らかであり、農地として保全できるような施策を求める。

**A** 指摘のように、学校給食に地元産を使用して、なつかこだわりの農産物を生産していく事は非常に大事だと考えており、栽培基準を含めた中で、みやこ町農業振興連絡協議会の中に学校給食に関する小委員会を設け、指摘の事柄についても検討していく。

**Q** 農地プラン策定後に、みやこ町は耕作放棄地再生事業に取り組む準備はあるのか。実施するならば開始時期並びに要件、要領を尋ねる。

**A** 農業委員会の協力を得ながら荒廃農地の洗い出しを行っており、年度内には、受託可能な農業経営体を選定し、該当する農業者に栽培を募つてみてはどう

**Q** 農地消で農業振興

**A** 給食センター用として町内産農産物の生産、あるいは使用が少ないが、どこで誰が、どんな方法で生産しているのか、何も見えてこないが、児童や生徒が口にする食物があるので、栽培基準を明確に定め、広く町内

**Q** 荒廃果樹園の対策は

**A** 指摘のように、学校給食に地元産を使用して、なつかこだわりの農産物を生産していく事は非常に大事だと考えており、栽培基準を含めた中で、みやこ町農業振興連絡協議会の中に学校給食に関する小委員会を設け、指摘の事柄についても検討していく。

**Q** 地産地消で農業振興

**A** 事業等の広報は、各協議会あるいは部会組織等を通じて、迅速に周知徹底を行う。また、指摘の粗飼料供給事業についてあるいは部会組織等を通じて、WCS(ホールクロップサイレージ)とは？

とうもろこしや稲のように、従来は子実をとる目的で作られた作物を、纖維の多い茎葉部分と栄養価の高い子実部分と一緒に収穫し、乳酸発酵させたものです。乳用牛や肉用牛にとってバランスのとれた飼料となります。

**A** 学校給食に地元産を使用して、なつかこだわりの農産物を生産していく事は非常に大事だと考えており、栽培基準を含めた中で、みやこ町農業振興連絡協議会の中に学校給食に関する小委員会を設け、指摘の事柄についても検討していく。

補助金については、再考する。



刈り取られたWCS用稲



柿野義員

**A** 現在でも基本的には町の全  
域の光ファイバー網敷設を考えて  
いる。

**Q** 「困らせている子どもが、一番

**A** 学校問題の解決に向けて  
早期対応に努めている。

**Q** 町の取り組む姿勢は。  
**A** 住民と行政との情報の共有  
や、まちづくりへの町民の参画機  
会を図るため、本庁機能の統合、  
今後の学校のあり方、類似施設の  
運営などについて説明した。

**Q** 意見の集約は。  
**A** 町の説明したことや、町政全  
般についての意見があつた。建設  
的な意見が多く、厳しい財政状況  
の中、前向きに進めるべきだと  
いふ意見だった。広報みやこ9月号  
にアンケート結果や意見の一部を



町政懇談会(諫山地区活性化センター)

## Q 声にどう応えるのか

### A 町政に生かし、 できることから取り組む

公表している。

**A** 9カ所で一般的な参加者は16  
名。

**Q** 出席者は。

いる。

**A** 9カ所で一般的な参加者は16  
名。

**Q** 出席者は。

こまっている子どもかもしれな  
い・・・との6月議会答弁に感  
銘している。進んだ取り組みは。

策を講じているのか。

**A** 24年度は1592万円の被  
害。アナグマやアライグマ等の被  
害も拡大している。箱罠、獎励金、  
獣肉の買い取りなどで駆除を促進  
している。

**Q** 鳥獣被害対策を進めるために  
何を講じているのか。

**A** (教育長) 早寝・早起き・朝ご  
はんの実行といった生活習慣の改善  
が大切。家庭教育力宣言という取り  
組みを一生懸命やっている。豊津駐  
在員会に中学の校長が参加して、意  
見交換ができ、駐在員から「一緒に  
がんばろう」という声があつた。「挨  
拶をしてくれるようになった、以前  
は無かったのに」との地域の人の声  
が聞かれるようになり、地域の人があ  
ざもたちを見ていただいているな  
どありがたく感じている。

**Q** サルについての北九州市の実  
態調査に連携して有効な対策を。町  
民からはサルの被害に耐えられず捕  
殺との意見も出るほどだ。駆除も検  
討したらどうか。

**A** 北九州市や香春町などとの情  
報を共有に努める。

**Q** 科学的な有効な被害対策手段  
を目指せ。

**A** 単独では困難。昨年12月と8  
月に、京築農業振興協議会から国  
や県に個体数の実態調査の実施と  
現状把握に基づく総合的かつ効果  
的な獣害防止制度の構築を提言し  
たところ。

**Q** 不登校児童生徒数、いじめ件  
数は。

**A** (教育長) 欠席日数が年30日  
以上の小中学生は合計で毎年約20  
人。地域による差はみられない。  
いじめは昨年4件、今年は3件の  
報告。

**Q** 対策は。

**A** (教育長) 定期的な学校生活ア  
ンケートや集団に対する満足度を調  
べるテストを実施して、早期発見、  
早期対応に努めている。

**Q**

# 環境に優しい生ごみ、し尿、浄化槽汚泥の循環センターを

**A**

## 先進地への視察を行い、施設の運営方法等について検討していく



**馬 中 勝 員  
議 員**

**Q**

生ごみ、し尿、浄化槽汚泥から、バイオマスと液肥を作るプラントでのリサイクル。これにより、生ごみが焼却されるとなく資源となる。し尿、浄化槽汚泥は液肥として町内の田んぼや畑、家庭菜園、花壇などに有機肥料として利用できるが、町長の考えを問う。

**Q** 生ごみ、し尿、浄化槽汚泥から、バイオマスと液肥を作るプラントでのリサイクル。これにより、生ごみが焼却されるとなく資源となる。し尿、浄化槽汚泥は液肥として町内の田んぼや畑、家庭菜園、花壇などに有機肥料として利用できるが、町長の考えを問う。

**A**

本町がこのような施設を建設し液肥を製造した場合、農家の受け入れ、地域住民の理解、液肥に係るにおいや衛生面など、さまざまな先入観、コスト、製造施設の場所など課題が挙げられる。豊前広域環境施設組合と今後の施設の在り方について検討している所。

**Q** 年間処理費は三億四千万円もかかっている、この問題をこのまま続けるのか、それとも環境の循環型、無駄のない生活スタイルに替えるのか。

**A**

先進地への視察を行い、関



大木町の液肥散布の模様



大木町の有機物循環システム

の年間経費について問う。

**A** 生ごみ約二億二千万円、し尿一億二千万円で合計三億四千円となっている。町としては、

行政改革計画により、厳しい財政状況の中、経費節減に努め、業務管理の改善を図つていく必要があると考えている。

係機関等と協議、また、住民アンケートを実施し、施設の運営方法等について検討していく。

シケートを実施し、施設の運営方法等について検討していく。

事業の見直しなども含め、内容の充実を図り、事業の周知についても行つていく。

**Q** 分別収集の売り上げは年間約二百二十六万円程度ある。各区に支払っている助成金は約二百三十万円となっている。助成金は町民上げての取組を強める力になつていてるが、継続は出来ないか。

**A** 助成金は分別収集を定着させる目的として、当分の間支給する事としていたが、現在、町民の皆様は分別方法を理解しない。

分別に対する意識も定着している。ゴミ事業には多額の経費が掛かっているため、継続は難しい。

**Q** 高齢化が進み、分別できない人、分別場所まで持つていけない人などで、役員の負担が一層増すものと考えるが、行政としての今後の考え方について問う。

**A** 現在、町民のご理解とご協

力により進められ、地球環境に関して意識が変わってきた事や、各自治体でのコミュニティスタイルが図られ、意義深いものがある。



熊谷みえ子  
議員

**Q**

## 小学校の統廃合は、

**住民の意見を反映すること**

**A**

講演会等で理解を深めることができた

**Q** 学校再編整備計画の小学校統廃合について、住民の意見を汲みつくす説明会を開催する事。

**A** (教育長) 2月、8月の教育講演会において、検討の経過、さらに答申の内容「思い・願い」などについて説明をした。

**Q** 小中一貫教育の教育効果とはなにか。検証はされたか。

**A** (教育長) 小中一貫教育は、制度的に位置付けられたものではなく、全国の学校、市町村において、小学校における教育と中学校における教育を円滑に接続させるために、さまざまな取組みが進められているもの。

**Q** 宗像、北九州市では、小中連携をすることによって、生徒指導の充実を目指す目的。すなわち、生徒指導上の問題が減っていくとか、不登校の子たちが少しでも減っていくとか、逆に多忙化ということについての改善もできるのかなと思っています。

き、理解を深めることができた。  
**Q** 小中連携というのは何のためにするのか、教員の多忙化のためではないはず。子どもたちと触れ合う時間もないような事態にならないとも限らない。現実的にそういうことが起こっている。今後の取組みの方について問う。

**A** (教育長) あくまでも、小中連携をすることによって、生徒指導の充実であり、学習指導の充実を目指す目的。すなわち、現状ではどの学校が統合されるか決まってないので、利用できるものであれば地域活性化に有効な活用を考えたい。

## 小学校の廃校で地域の

よりどころをなくしてしまう

**Q** 学校在り方検討委員会の答申により、各旧町で小中学校を統一して、小学校統廃合が示さ

れている。教員の多忙化がさらに進んでいている事例がある。

現状は地域の拠点は公民館であります、地域の実情を踏まえて行つてまいりたい。



伊良原小中一貫校(完成予想図)



伊良原小中一貫校 建設予定地

**Q**

## 放課後児童クラブの今後の展開は

**A**

豊津地区の開設に向け、前向きに検討したい

**A** 豊津地区は児童クラブがないので前向きに設置に向け検討しているので前向きに設置に向け検討したい。

**Q** 小規模でもいいので三つの事業の中から保護者の方たちが選べるようなサービスができるのか伺う。

**Q** 小規模でもいいので三つの事業の中から保護者の方たちが選べるようなサービスができるのか伺う。

**Q** 小規模でもいいので三つの事業の中から保護者の方たちが選べるようなサービスができるのか伺う。

**Q** 放課後児童クラブ、寺子屋、遊び場、この三つの事業の現在の状況及び今後の方針について伺う。

**A** 児童クラブは保護者が労働等により昼間家庭にいない1年生から4年生が対象。寺子屋と遊び場は労働等に関わらず1年生から6年生まで対象。利用料金は児童クラブと寺子屋は有料、遊び場は無料。豊津地区は寺子屋と遊び場は実施しているが児童クラブは設置していない。

**Q** 放課後児童クラブ、寺子屋、遊び場、この三つの事業の現在の状況及び今後の方針について伺う。



**橋本真助議員**

していく。ある程度の施設がないとできないので、どこでやるのかどの方にやつていただきのか検討していく。

**A** (教育長) 24年度から『豊前国府まつり』を地元と協力して実施してきた。現在改修工事を行っている最中。今後、より多くの人が楽しむことのできる憩いの場として管理、運営を行つ

ていく。公園の管理委託については地元の方にお願いをする。

	放課後児童クラブ	豊津寺子屋	遊び場
対象児童	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校1年生から4年生(障がいを持つ児童は6年生まで)	保護者の労働等に関わらず、小学校1年生から6年生	保護者の労働等に関わらず、小学校1年生から6年生
利用料	【犀川児童クラブ】月額5,150円(保険料含む) 【勝山児童クラブ】1回につき300円(月額6,000円を上限) 保険料 年額3,600円を一括徴収	保険料年額800円 通常学期中 1日200円 夏休み中 1日300円	【節丸地区学習等供用施設】無料 【祓郷地区学習等供用施設】無料
開設日	月から土曜日開設(休み) 日曜日、国民の祝日 8月13日から8月15日 12月29日から1月3日	月から金曜日開設(休み) 土曜日、日曜日、国民の祝日 盆休み、冬休み、春休み	月から金曜日開場(休み) 土曜日、日曜日、国民の祝日 年末年始
開設時間	【犀川児童クラブ】月から金曜日 放課後～18時 土曜日 8時30分～18時 【勝山児童クラブ】月から金曜日 放課後～19時 土曜日 7時30分～19時	月から金曜日 放課後～18時	月から金曜日 放課後～17時30分

放課後児童クラブ、寺子屋、遊び場比較表



豊前国府跡公園改修の模様

**Q** 豊前国府跡公園について地元や周辺の店舗等との相乗効果を求める努力はしていく

**A** (教育長) 24年度から『豊前国府まつり』を地元と協力して実施してきた。現在改修工事を行っている最中。今後、より多くの人が楽しむことのできる憩いの場として管理、運営を行つ

**Q** 今後の周辺整備計画はあるのか

**A** 周辺整備計画は現時点ではない。町づくり及び地域活性化の観点からも周辺整備計画を含めた地域計画を策定する必要があると考えている。地元の皆様の意見を伺いながら、環境の整備の問題も取り組んでいく。

**Q** 今後の周辺整備計画などについては地元としっかりと協議をして、安心して生活ができる体制をとどっていただけるのか



**柿野正喜  
議員**

## 省エネ対策に LED照明の導入を

**A 計画的に導入を図っていく**

**Q**

**Q** 3月11日の福島原発事故以来、電気の発電、電気の消費の在り方について、国民の関心が大きく高まっているが、LED照明の導入計画及び現状を問う。

**A** LED照明は現在の蛍光灯と比べ、消費電力や二酸化炭素が節減され、節電や環境対策に有効であり、長寿命で省メンテナンスのため、ランニングコストを

**Q** 防犯灯をLEDに換えた場合の、電気料金、二酸化炭素の削減効果、さらに長寿命化を考

ト低減も可能となり、積極的な導入を計画している。また、町内に設置している4700灯の防犯灯のうち、今年度、豊津地区の一部に600灯のLED化を行う予定であり、今後も計画的に他の地域においてもLED照明に交換する予定である。

**Q** 防犯灯をLEDに換えた場合の、電気料金、二酸化炭素の削減効果、さらに長寿命化を考

慮した場合の費用対効果を試算されているか伺う。

**A** 消費電力が約60%削減され、電気代は48%削減されると

言われている。

安いジェネリック医薬品利用カードの推進状況を伺う。

**A** 平成24年度までは送付して

いた国民健康保険証に、ジェネリック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付している。

今後も利用者増加に向け、み

やこ町ホームページや広報へ掲

載をしていきたいと考えてい

る。

リック医薬品希望カードを同封

していたが、今年度からは保険

証がカード化されたため、庄着

された保険証の横に、ジェネ

リック医薬品の利用をお願いす

る文書を付け、送付

**Q**

**筑上町は豊前広域環境組合の9月議会で離脱を表明したが、みやこ町の対応は**

**A**

**離脱は、大変難しい問題**



**彦  
田  
勝  
員**

**Q** 築上町が離脱報道に至るまでの経過を問う。

**A** 一市2町（豊前市、築上町、みやこ町）での首長会議の中で、豊前市としては液肥として今後やつていきたい、築上町も液肥でいきたいという話があつた。築上町長も再度、長い歴史があり、広域環境組合議会に提案をし、早急に会議を開き、離脱は大変難しい問題で私としては、軽々には「はい、そうですか」ということはできないと思っている。

**Q** 合併後、旧犀川町より始まり、広域環境組合議会に提出された議案を、いつから実施する予定ですか。

**A** 町単独でのゴミ施設やし尿や浄化槽汚泥施設については避けて通れない大きな問題ではあ

**Q** 築上町が離脱を表明したが、みやこ町として対応はどうなったのですか。

**A** 豊前市長も再度、長い歴史があり、広域環境組合議会に提案をし、早急に会議を開き、離脱は大変難しい問題で私としては、軽々には「はい、そうですか」ということはできないと思っていた。

**Q** 築上町が離脱した場合、みやこ町の負担率は。

**A** 負担率は豊前市が53%でみやこ町は47%の割合になる。

**Q** みやこ町単独で、し尿やゴミ施設建設は出来ないのか。

**A** 堆肥化して農家に還元する方策を含め検討していく必要がある。液肥の活用などの課題について、どう解決すればよいか検討を進めてまいりたいと考える。

**Q** 築上町が離脱報道に至るまでの経過を問う。

**A** し尿や浄化槽汚泥処理は、われわれ町民の生活に直結する大きな問題ではないのか。

**Q** 環境施設組合への負担金の分担割合は。

**A** 平常運営費の均等割が1割、人口割が3割、搬入割が6割でもう一点が公債費であり、均等割が2割、人口割が8割で運営されている。

**Q** し尿、浄化槽汚泥による液肥による資源環境型農業の推進は。

**A** 堆肥化して農家に還元する方策を含め検討していく必要がある。液肥の活用などの課題について、どう解決すればよいか検討を進めてまいりたいと考える。

**Q** 築上町が離脱した場合のみやこ町の負担金はどのくらい増えるのか。

**A** 豊前市にお願いをしながら広域で一緒にやっていく。当然分担金の増額は生じる。

**Q** 豊前市にお願いをしながら広域で一緒にやっていく。当然分担金の増額は生じる。

**A** 今年度の町政懇談会でもしの問題を提示し、説明や報告しながら話を進めたいと考える。

**Q** 今後、委員会や協議会は、議会は議会で立ち上げて頂き、我々、執行部もプロジェクトチームをつくって、どういう方向に進めたらいいのか勉強していきたいと思いますので、ぜひ御協力して頂きたい。

**Q** みやこ町と豊前市でのし尿、汚泥処理場の運営は出来るのか。

**Q** みやこ町と豊前市でのし尿、汚泥処理場の運営は出来るのか。

のがこの問題であり、公に、どうということは言えない状況である。

**Q** 今年度の町政懇談会でもしの問題を提示し、説明や報告しながら話を進めたいと考える。

**A** 今後、委員会や協議会は、議会は議会で立ち上げて頂き、我々、執行部もプロジェクトチームをつくって、どういう方向に進めたらいいのか勉強していきたいと思いますので、ぜひ御協力して頂きたい。



豊前広域環境施設組合



分別収集の模様



中 山 茂 員 樹

みやこ町の小中学校15校のうち、築年数30年以上が14校あり、老朽化が進んでいる。

**Q** みやこ町の児童生徒数は、平成23年1616人に対し10年後には、20%減1287人、10年間で330名減少するという事は、町内で中規模の学校2校の生徒がいなくなるという事である。これは大変な状況が予想される。

**A** みやこ町は少子高齢化社会になつていて、そういう中で若

町長、教育長の考え方を問う。  
事業で、本事業では、より具体的な学校づくりについて検討するため、4月に学校再編整備計画策定委員会を設置し、新しいスケジュールを含んだ、再編整備計画についての答申を平成26年7月を目指していっている。



佐賀県多久市 小中一貫校視察研修の模様

**Q** 小中一貫校の早期建設は、再編整備計画の答申は、平成26年7月を目指に

学校在り方検討委員会は、既存の校舎を大規模改修するか、新築した方が良いか、町の財政状況も含め検討した結果、旧町ごとに小中一貫校を各1校新設する具体的な整備計画を策定する事を期待しますと答申が出ている。

**A** (教育長) 本年2月の学校在り方検討委員会の答申を受け、新たに二つの事業に取り組んでいる。



佐賀県多久市 小中一貫校中央校の中庭にある音楽室

者に定住して頂きたく、若者向け住宅の建設、住宅用地の販売等も予定している。みやこ町において「子育てがしやすい」「教育が充実している」そういう形になれば、みやこ町に住んでもらえるのではと考えている。そ

とするものです。

### 空き家対策の条例整備を

**Q** 新聞等で報道があつたが、豊前市、行橋市等では条例を制定したり、取り壊す時に補助金を支出する等取り組んでいるが、みやこ町は空き家対策をどのように取り組む考えか問う。

**A** 空き家対策については、県内13自治体が空き家等の適正管理に関する条例を整備している。本町としても、地域の環境衛生、防犯や防災の問題を考えると、条例整備の必要性を感じている。9月9日にみやこ町環境保全審議会に条例案の審議を頂いたところであり、次の議会に提案できるように準備をしたいと考えている。

**Q**

## 本庁機能の移行プロセスは、どう考えているのか

**A**

準備が必要であり、慎重に進めていく



**俊  
中尾文議員**

**Q** 7月の町政懇談会で庁舎統合問題は「概ね理解を得た」との報告があつたが、参加者は町内9か所で168名と少数だと思ふ。本庁以外の地域に拠点を設けた活性化施策の進捗はどうなっているのか。また、今後本庁機能の移行プロセスはどう考へているのか。私は、庁舎の増築ではなく、合併後10年で職員定数が減るので、当分の間は現在の方式で行うべきものだと考へる。



犀川支所の議場

次に、以前から旧豊津、犀川の議場の活用をすべきと言つてきたが、町政懇談会の参加者は単純計算で、1カ所20名に満たない人数である。そこで、庁舎統合や学校の在り方をはじめ、

**Q** 7月の町政懇談会で庁舎統合問題は「概ね理解を得た」との報告があつたが、参加者は町内9か所で168名と少数だと思ふ。本庁以外の地域に拠点を設けた活性化施策の進捗はどうなっているのか。また、今後本庁機能の移行プロセスはどう考へているのか。私は、庁舎の増築ではなく、合併後10年で職員定数が減るので、当分の間は現在の方式で行うべきものだと考へる。

**Q** 7月の町政懇談会で庁舎統合問題は「概ね理解を得た」との報告があつたが、参加者は町内9か所で168名と少数だと思ふ。本庁以外の地域に拠点を設けた活性化施策の進捗はどうなっているのか。また、今後本庁機能の移行プロセスはどう考へているのか。私は、庁舎の増築ではなく、合併後10年で職員定数が減るので、当分の間は現在の方式で行うべきものだと考へる。

**Q** 7月の町政懇談会で庁舎統合問題は「概ね理解を得た」との報告があつたが、参加者は町内9か所で168名と少数だと思ふ。本庁以外の地域に拠点を設けた活性化施策の進捗はどうなっているのか。また、今後本庁機能の移行プロセスはどう考へているのか。私は、庁舎の増築ではなく、合併後10年で職員定数が減るので、当分の間は現在の方式で行うべきものだと考へる。

**A** 本庁機能統合は体制の整備と同時に、行革の推進、組織の改編などを図っていく。しかし、統合に向けた準備が必要であり、慎重に進めていく。拠点活性化施策は検討中であるが、例えば住宅施策やシンボリック的な事を考へている。

**Q** 今川流域市町村連絡協議会が関係4市町村で発足し、交流、連携し今川の自然環境を守り、浄化するとの報告があつた。昨年7月の集中豪雨での河川の氾濫による被害は甚大であった。その要因は今川にあり、支流の全てが今川に流れるためである。現在の今川は葦や土砂の堆積で中洲ができ、樹木があり、流れが阻害され水位が上がることで支流の流れを阻害し、逆流したことが昨年7月の水害の一因であった。今回の連絡協議会



今川流域市町村連絡協議会発足式

### 今川流域市町村連絡協議会が発足

**Q** 今川流域市町村連絡協議会が関係4市町村で発足し、交流、連携し今川の自然環境を守り、浄化するとの報告があつた。昨年7月の集中豪雨での河川の氾濫による被害は甚大であった。その要因は今川にあり、支流の全てが今川に流れるためである。現在の今川は葦や土砂の堆積で中洲ができ、樹木があり、流れが阻害され水位が上がることで支流の流れを阻害し、逆流したことが昨年7月の水害の一因であった。今回の連絡協議会

**A** 今川流域市町村連絡協議会は、流域の地域住民が今川の美しい流れや、自然環境を守り、域振興に活用が考えられる。今後の開催で、住民の多様化するニーズの把握で、行政運用や地政の重要課題の前進が図れると考えるが、町長の考えを問う。

**A** 今川流域市町村連絡協議会の開催で、住民の多様化するニーズの把握で、行政運用や地政の重要課題の前進が図れると考えるが、町長の考えを問う。



悟 真員 房 議 金



ゆいの郷

**Q 高齢化、介護や医療が重要な施策となる中、財源と共に職員の能力開発が不可欠である。費用対効果を類似団体と比較し、予算は大きいが内容が見えない。**

交付税等厳しい状況が目前である。併せて100億円の町債（借入金）は重い。国、県の補助採択は職員の力量であるので、努力を。

**Q 農林業を基幹産業とした本産業経済、企業誘致、地場産業の育成にどう努めるのか**

**Q 旧町営グランドの移設建設はゆいの郷建設に伴う、旧町営グランドの移設建設は**

**Q いじめを苦に自殺と、胸に突き刺さる報道、涙と憤りを止められない。命の尊さ、重さは測れない大切な教育の原点である。被害者、加害者、保護者、皆不幸になる。いじめの撲滅のために更なる教育を。**

**A (教育長) 不祥事防止は委員会、校長会を通じ取り組み、徹底指導している。**

生徒指導は、学力、学習意欲が二極化、規範意識が低い。ボランティア体験などが必要である。また、家庭では生活習慣の改善、いじめを許さない、いじめを生まない学校づくりを努力していく。

**Q 町財政健全化にどう努力したのか**

**A 財源確保に最大限努力し、経常経費の節減に努める**

特に「ユニープレス」は町内の業者が施行したが、みんなが良い企業だと喜んでいた。更なる地場産業（建設・商工業）等を細かな育成を。

**A 旧町時代から計画があつた事は承知しているが、類似施設の統廃合を検討したところ困難である。行革の中で引き続き検討する。**



学校応援団「チーム豊津」発会式

# がんばっちゃよる

## うすめの会

上伊良原「うすめの会」が発足して早6年がたちました。昔は「婦人会」という名の部会がありました。自然と消滅しましたが、自然と消滅してしまいました。もともとは、高齢化と共に段々地域の過疎化が進み、それに拍車をかけるかのようにダムの建設が始まり、「このままでいいのか」「何とか活性化する方法はないのか」という話題が主婦たちの「井戸端会議」から始まり「うすめの会」が発足しました。

まず始めに地域おこしとして取り掛かったのが、「きれいな空気と水」自然エネルギー水を利用した小水力発電を検討し、真っ暗な地域に明かりを灯そうと言うことから「伊良つしゃい・夢水車」と名付けた、小水力発電を完成させたことです。

水車で発電された電気で「おかげりなさい、おつかれさま」とネオンが灯り、田舎の人たちの心を和ませ、安らぐ場所として親しまれています。

12月には「伊良トピア祭」と名

付け、地域のイベントとして中

学校の協力を得て、校庭の大きな木

にイルミネーションを点灯しています。また、地域の皆さんとの協

力のもとに、田舎ならではの「地産地消」を目的として「食の祭典」田舎グルメを多くのお客様に食して親しんで頂き、「伊良原の魅

力や良さを少しずつでも伝えて

いきたい」、そんな思いで「うすめの会」の母ちゃん達が、がんばつ

ります！



伊良つしゃい・夢水車

## 伊良つしゃい。

「うすめの会」は小さな農家レストランの夢が叶うように「田舎ならではの お・も・て・な・し」を中心、父ちゃんも、母ちゃんも、じいちゃんも、ばあちゃんも、元気で皆様のお越しをお待ちしています。伊良原は四季折々の見どころ満載なので、ご家族お揃いで

連絡先	
うすめの会	代表 山下 里美
TEL 431-5245	



かあちゃん弁当

発行責任者	委員長	副委員長	委員員	特別委員会
〃〃〃				
上田 中柿 橋 小熊				
田 中山野 本田 谷				
重 勝 茂 正 真 勝 みえ子				
光 馬 樹 喜 助 彦子				

発行日：平成25年11月1日  
発 行：みやこ町議会

〒824-0892  
福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地  
TEL0930-32-2511 (内線 301・302)  
FAX0930-32-4563

編集：議会広報特別委員会  
印刷：(株)日報

## 議会の傍聴において下さい。

※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。

12月定例会の招集日は12月3日となっています。詳細については、ホームページや防災無線等でお知らせします。

本会議中継を本庁及び各支所口ビーセット設置のテレビでも放映いたしますのでご覧ください。



今年で62年続いた九州一周駅伝は、今大会で最後だそうです。九州路、秋の風物詩、歴史を重ねたこの駅伝、11月3日のゴールで終止符を打つことになります。私の年齢62歳とも重なり、感慨深く思います。大会は九州各県、山口県を含めた九つの県が九州一周の約1,000kmを二週間かけて競走する、世界ギネスに登録されている長い駅伝レースなのです。

レースの期間中は朝刊で、昨日はどこの県がトップだったのか、誰が区間賞を取ったのだろうかと、興味津々でした。大会前期は新日鉄(旧八幡製鉄)の選手を中心とした宮崎県が、大会後期は旭化成の選手を中心とした福岡県が、大会後期は旭化成の選手を中心とした宮崎県が強かつたようです。沿道では、「オイサオイサ」「良いペース」「前と詰まった」等の監督車からの声が脳裏をよぎります。長い歴史の中、九州から日本を代表する長距離ランナー、オリンピック選手が育った事は間違いないでしょう。九州一周駅伝大会、長い間本当にありがとうございました。

## 編集後記